

《最近の県内経済》(2022年10月を中心として)

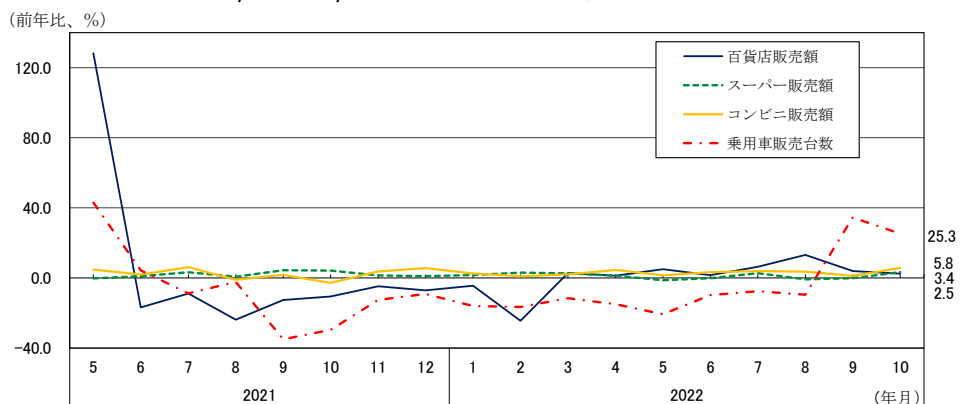
令和4年12月28日

今月の概要

緩やかに持ち直している。

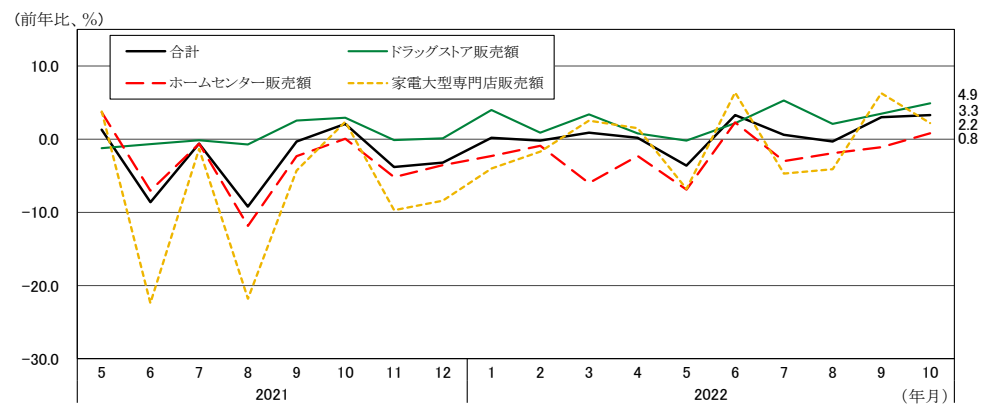
1 個人消費 ～持ち直しの動きが続いている

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、持ち直しの動きが続いている。

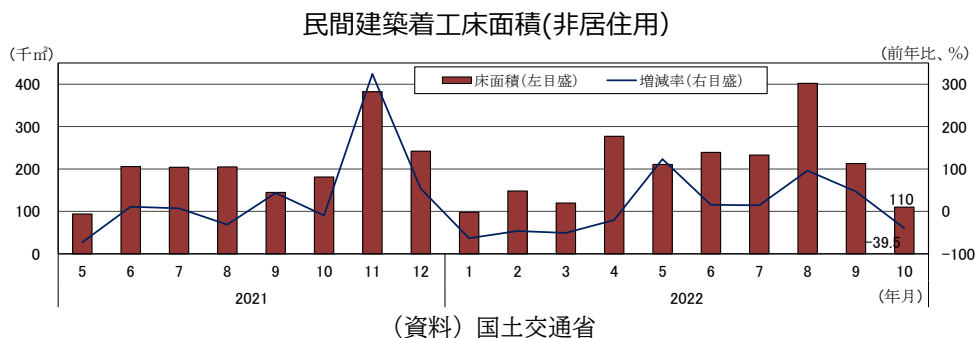
10月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店が121億円で前年比2.5%増（8か月連続の増加）、スーパーは998億円で同3.4%増（3か月ぶりの増加）となった。また、コンビニ販売は561億円で同5.8%増と、12か月連続の増加となった。行動制限が解除され、外出需要が回復している。

また、乗用車販売は、前年比25.3%増と2か月連続の増加となった。内訳をみると、普通車が同9.2%増、小型車は同17.5%増、また軽乗用車も同51.5%増とそれぞれ2か月連続の増加となった。部品の調達遅延や半導体不足の影響が徐々に緩和している。

10月の専門量販店販売額は、733億円で前年比3.3%増となった。内訳をみると家電大型専門店が167億円で同2.2%増（2か月連続の増加）、ドラッグストアが389億円で同4.9%増（5か月連続の増加）、ホームセンターが177億円で同0.8%増（4か月ぶりの増加）となった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、9月〈31.2〉、10月〈31.2〉、11月〈30.3〉で推移している。

2 設備投資 ~持ち直している

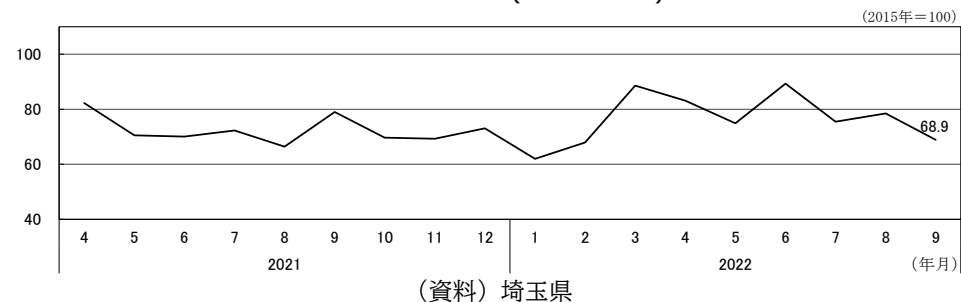


10月の民間建築着工床面積(非居住用)は、110千㎡で前年比39.5%減と6か月ぶりの減少となった(5か月後方移動平均では前年比27.1%増)。

用途別にみると、事務所、学校の校舎は増加したものの、店舗、工場及び作業場、倉庫、病院・診療所がいずれも減少した。

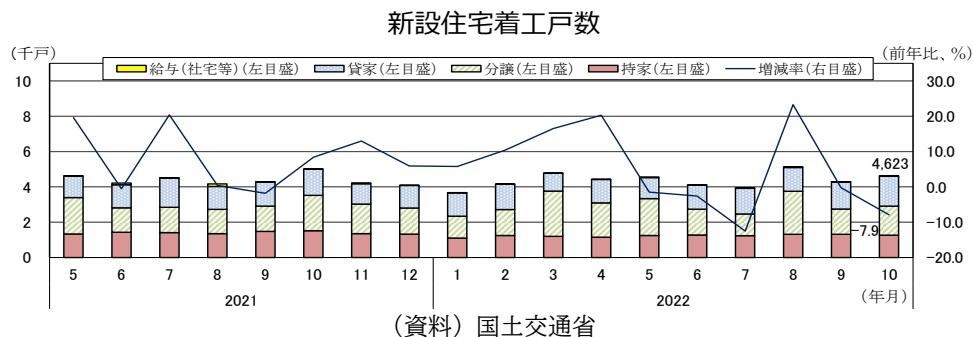
コロナ禍で見送りの案件の実行も幅広い業種で見られる。

資本財出荷指数(季節調整済)



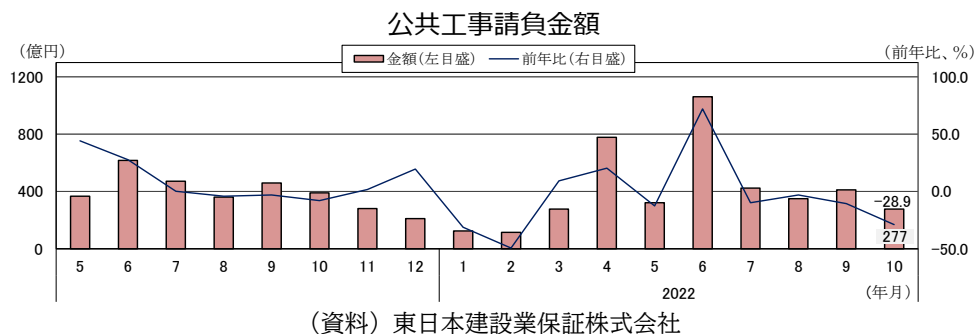
9月の資本財出荷指数(季節調整済)は68.9で、前月比12.2%減と2か月ぶりの減少となった(5か月後方移動平均では、前年比2.8%減)。

3 住宅建設 ~底堅い動きとなっている



10月の新設住宅着工戸数は、4,623戸で前年比7.9%減と2か月連続の減少となった(5か月後方移動平均でも0.5%減、18か月ぶりの減少)。利用関係別にみると、貸家(1,701戸)が同15.6%増、分譲一戸建(1,378戸)が5.8%増といずれも増加したものの、持家(1,263戸)が同16.6%減、分譲マンション(274戸)が同60.9%減といずれも減少した。

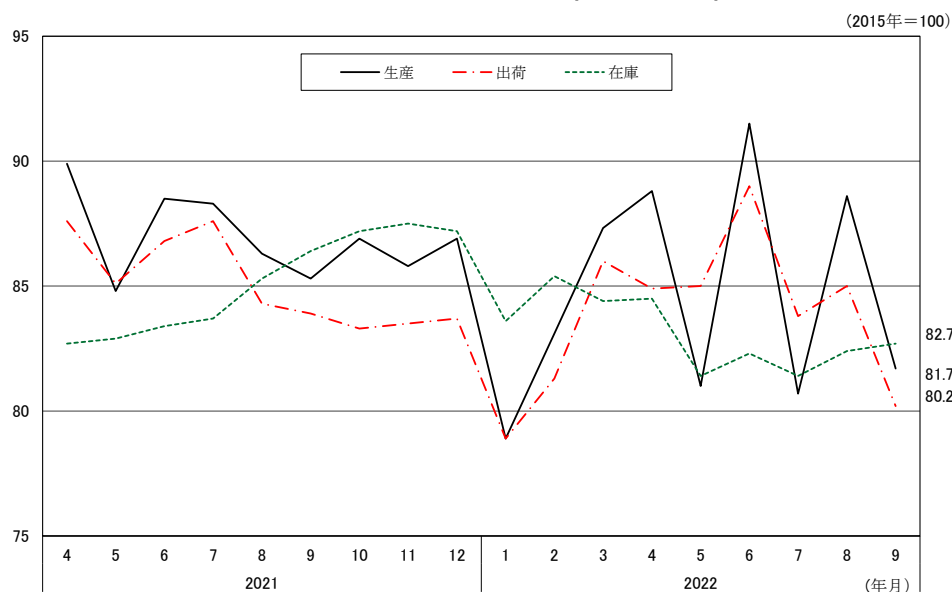
4 公共工事 ~横ばいとなっている



10月の公共工事請負額は277億円、前年比28.9%減となった(4か月連続の減少)。5か月後方移動平均では前年比9.8%増で推移。発注者別でみると、国、独立行政法人等、都道府県、市区町村、地方公社のいずれも減少した。

5 生産活動 ～一進一退

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



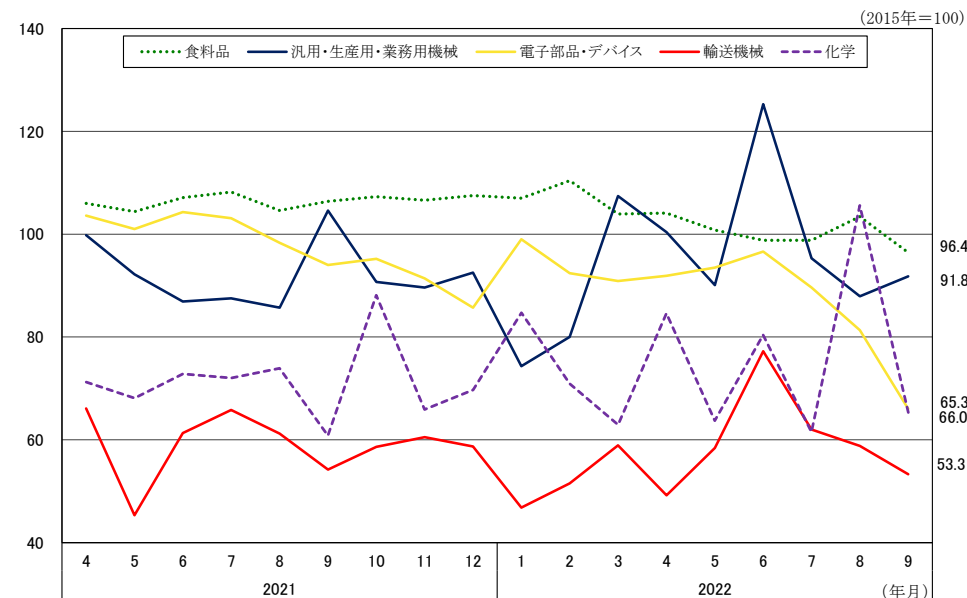
(資料) 埼玉県

9月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、81.7で前月比7.8%減少(2か月ぶりの減少)。木材・木製品(特殊合板、製材)、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、包装・荷造り機械)などが上昇したが、化学(医薬品、化粧品)、電子部品・デバイス(混成集積回路、粉末冶金製磁性材料)などが低下した。

出荷指数(同)は、80.2で同5.6%減少(2か月ぶりの減少)。木材・木製品(特殊合板)、皮革製品(革靴)などが上昇したが、生産用機械(半導体製造装置、金型)、輸送機械(乗用車、自動車エンジン)などが低下した。

在庫指数(同)は、82.7で同0.4%上昇した(2か月連続の上昇)。生産用機械(研削盤、刈込機)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、衛生用紙)などが低下したが、輸送機械(乗用車、普通トラック)、その他工業(ユニット住宅、シャープペンシル)などが上昇した。

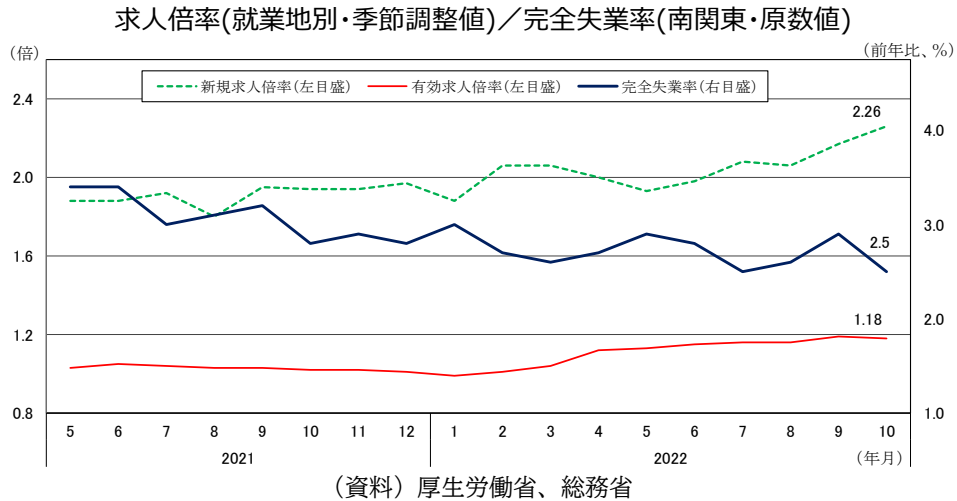
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、96.4で前月比6.8%低下、3か月ぶりの低下となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、91.8で同4.3%上昇、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、66.0で同18.8%低下し、3か月連続の低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、53.3で同9.4%低下し、3か月連続の低下となった。
- ◆ 化学(同)は、65.3で同38.2%低下し、2か月ぶりの低下となった。

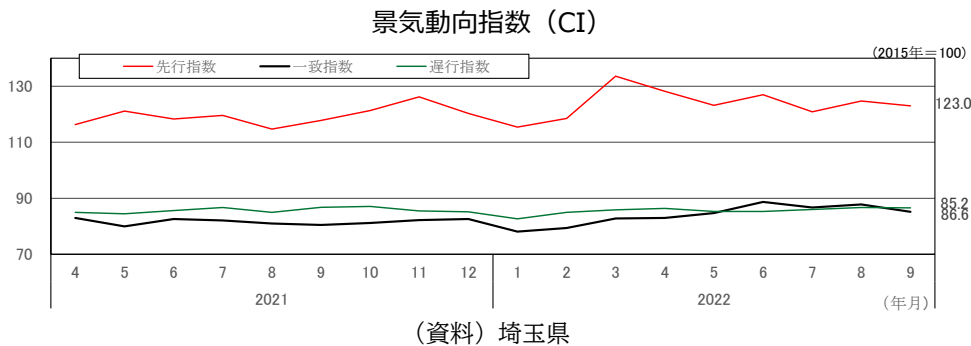
6 雇用情勢 ～穏やかに持ち直している



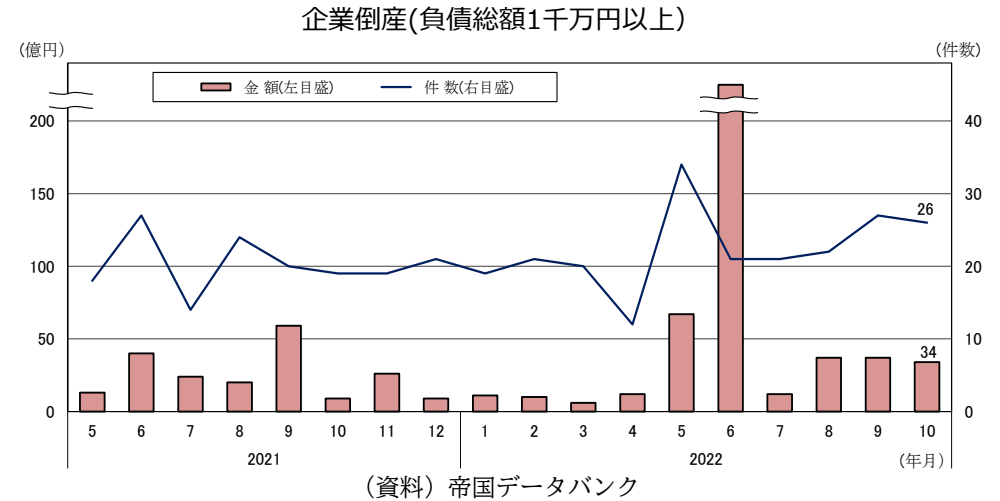
10月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.18倍で前月比0.01ポイント低下した(2か月ぶりの低下)。また、新規求人倍率(同)は、2.26倍で前月比0.09ポイント上昇した(2か月連続の上昇)。
完全失業率(南関東、原数値)は、2.5%で前年同月比0.3ポイント低下した(前年同月比8か月連続の低下)。

〈参考〉

景気動向指数(CI) ～改善を示している



7 企業倒産 ～低水準で推移



依然として低水準で推移している。
10月の企業倒産件数は、26件で前年同月比7件の増加となった。負債総額は34億円で同25億円の増加となった。
業種別にみると、建設業、卸売業、サービス業がそれぞれ最多で6件、次いで製造業が4件と続いている。主因別では、販売不振が23件となっている。